

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 情報システム 学研究所 社会知能情報学 専攻 博士前期課程		
氏 名	橋本 和幸	学籍番号	0951018
論文題目	マイクロブログを用いた評判傾向抽出法の提案		
要 旨	<p>近年、政策やサービスなどの評判を調査するために、アンケート形式による世論調査や市場調査の頻度が飛躍的に増加している。しかしながら、これらの調査の回収率は低落傾向にあり、人的コストや時間的コストが増加するとともに、顧客のニーズの変化が激しいことから短期的な調査が必要となっている。また、継続的な調査が困難なため、調査結果に何が影響を与えたのかといった原因の抽出が難しい。一方、Web 上にはブログやソーシャル・ネットワーキング・サービスなどの普及により、数多くのコンテンツが存在しており、これらのコンテンツの中にはユーザの意見を含む評価情報が多数存在している。そのため、これらのコンテンツから政策やサービスなどの評判の抽出が期待されている。</p> <p>そこで本研究では、評判傾向の自動抽出を目的として、評判傾向の時間的変化とその原因をマイクロブログから抽出する評判傾向抽出エージェントの実現を目指す。特に本論文では、評価情報の感情を抽出するセンチメント分析に着目し、重回帰分析により得られる回帰式から評判傾向の変化点を抽出した後に、変化点におけるトピックをチャンキングにより抽出する手法を提案する。本手法は、従来の評価判定法である評価情報を肯定的/否定的に分類する p/n 判定にセンチメント分析を組み合わせることで、p/n 判定単体よりも人手による調査と相関の高い時系列変化を抽出できる点が特徴である。また、本手法の有効性を検証するために政治およびテレビドラマに関するコンテンツを対象に実際の支持率、視聴率に対する評価実験を実施した。実験結果より、政治（自由度調整済決定係数 R^2 (p/n 判定単体：0.22, 提案手法：0.60)）、テレビドラマ（自由度調整済決定係数 R^2 (p/n 判定単体：0.26, 提案手法：0.56)）の精度が得られることが確認され、提案手法が実際の調査の時系列変化を抽出できることが確認できた。</p>		